



ご当地ナンバーの記事(各市町広報誌より)



役場2階に開設された「よりのジョブセンター」



介護者マーク



観光クリエイション事務局等募集ポスター

次のページは「保育料の見直し」・「入居者の体温計・耐震補強」に関する一般質問

寄居町の今とこれから「一般質問」(10名が登壇しました)

ご当地ナンバープレート導入の考えは



答弁→ 諸課題を整理しながら検討していきたい考えです

問 ここ数年、日本各地で、その土地ならではの個性的なデザインの原動機付き自転車用のナンバープレートが続々と生まれています。9月5日現在、40都道府県・139市町村が導入しています。埼玉県内でも、昨年交付の加須市をはじめとして、さいたま市・所沢市・新座市・本庄市・横瀬町・美里町・上里町・三郷市・皆野町・富士見市・ふじみ野市・東松山市(順不同)と13自治体がそれぞれの市町のPRを兼ねたキャラクター等をデザインに取り入れたナンバープレートを導入しています。

ご当地ナンバープレートを交付することで町のイメージを印象づけることができ、PR効果もあると考えます。町としての考えを伺います。

答 ご当地ナンバープレートの効果としては、「町の紋章」として町民の方々に親しまれ、町への愛着が深まることや、ご当地プレートが町内外を走るることによって町のPRにもなり、話題づくりや観光振興の一助となることなどが挙げられます。

ご当地プレート交付の考えは

問 本町においても、キャラクターや特産品等をあしらったご当地プレートを交付する考えについて伺います。

答 町民に愛されるプレートづくりとはどうあるべきかなど、諸課題を整理しながら検討していきたいと考えています。

よりのジョブセンター開設、状況は



答弁→ 埼玉労働局等に相談を重ねて実現しました

問 7月末の全国完全失業率は4.3%、失業者数は288万人。ジョブセンター開設により失業者の就労支援業務が、順調に機能発揮できるように支援したいものです。全国初の町の取り組み、経緯と厚労省埼玉労働局との協定書の内容を伺います。

答 埼玉労働局等に相談を重ねて実現し、協定書は、就労支援の事業、運営協議会設置や広報の推進等を定めたものです。

問 設置場所、求人検索機、スタッフ(4人)等体制は適切と考えていますか。また、利用者状況について伺います。

答 協議の上、適正として設置しました。スタートから1週間(平日5日間)で152人が利用しており、見込み(1日平均30人)と適合しています。

問 庁舎に懸垂幕、玄関には案内板がありました。どのように利用者への周知徹底を図るのか伺います。

答 広報誌やホームページ等の積極的な活用と、ポスター・チラシなどできめ細やかな情報提供に努めます。

開設後の状況は

問 開設に至る工事の寄居町の負担について、また、開設後の照明、温湿度、電話回線の状況について伺います。

答 協定書に基づき町は必要な工事をを行い、運営は担当職員と臨時職員で実施します。照明はLED電球に交換します。そのほかについても適切な対応に努めます。

介護者マーク導入の考えは



答弁→ 今後、対応について研究していきます

問 高齢化の進行や認知症が一般に広く知られて医療機関への受診が進んだことにより、この10年間で認知症高齢者が倍増しています。そして、国は在宅ケアを柱とした認知症施策5ヵ年計画を年内に策定し、2013年度から実施していくとしています。こういった背景を考えると、この寄居町においても早期に介護者マークを導入する必要があると考えます。改めて導入についての考えを伺います。

答 今後、介護者の方の社会的状況等を踏まえながら、対応について研究していきたいと思えます。

介護マーク普及に関する見解は

問 平成23年12月13日に、厚生労働省から各都道府県宛てに「介護マークの普及について」の事務文書が出され、9ヵ月が経過しています。この文書が、県から既に寄居町にも届いていると思いますが、この文書を受けて、町ではどう検討されてきたのか伺います。

答 文書は届いていますが、国が各都道府県、市町村に周知し、各自治体を通じて、全国へ「介護マークの普及について」の周知にご協力をいただきたいという捉え方をしていました。このため、事業化までには至っていません。

介護者マーク…駅やサービスエリアなどのトイレに付き添うときや男性介護者が女性用下着を購入するときなど、介護中であることを示すものです。

寄居観光クリエイション、公募の応募数は



答弁→ 事務局長の応募者は42名です

問 事務局長と契約社員の公募の締切が9月10日となっていました。何名の応募がありましたか。また、寄居町の人は何名、寄居町以外の人からは何名の応募がありましたか。

「一次選考は書類審査。二次選考は面接で、一次選考通過者のみ9月中旬予定。審査員は、正・副会長とする」とありますが、会長・副会長とはだれですか。また、どこに事務所を考えているのかお伺いします。

答 事務局長の応募者は42名で、寄居町の方は4名、町外の方は38名、県内の人27名、県外が15名です。契約社員は、寄居町の人7名です。会長は島田町長、副会長は湯本寄居町観光協会会長、柴崎寄居町商工会長です。事務所は商業観光振興課に設置します。

政策会議の開催はしたのか

問 寄居観光クリエイションの本年度予算額は、767万6000円でした。この予算は、10月~3月までの半年間で単純に計算すると、1年間では、この2倍の約1500万円になりますが、このような重要な事業決定について、政策会議等の会議(会社では役員会)を開催し、決定されたものか、伺います。

答 予算編成の中で十分議論をし、予算上程しています。

観光クリエイション 介護者マーク